

日本初期写真史

関東編

新会期

*History of Early Japanese
Photography: Kantō Region
Images of Japan, 1853–1912*

December 1, 2020–January 24, 2021

東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

恵比寿ガーデンプレイス内

幕末明治を撮る

令和2年
12月1日(火)

令和3年
1月24日(日)

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網

会場：東京都写真美術館 3階展示室

開館時間：10:00–18:00 入館は閉館時間の30分前まで

休館日：毎週月曜日（ただし、1月11日[月・祝]は開館、1月12日[火]は休館。）年末年始（12月29日[火]から1月1日[金・祝]）

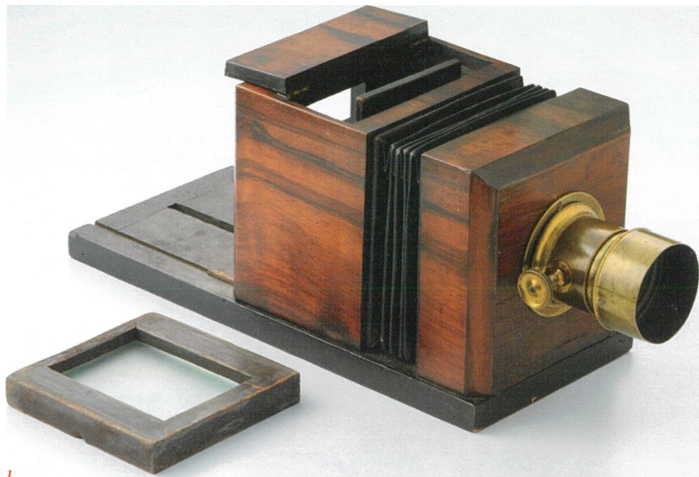
観覧料：一般700円 学生560円 中高生・65歳以上350円

※各種割引あり ※小学生以下および都内在住・在学の中学生、障害者手帖をお持ちの方とその介護者は無料

※1月2日、3日は無料 ※開館記念日のため、1月21日は無料 ※各種割引の併用はできません

THE FUTURE IS ART
文化でつながる。未来につながる。

TokyoTokyo
FESTIVAL



毎年、東京都写真美術館では、写真の起源にフォーカスして美術的のみならず、歴史的にも意義のある展覧会を行っています。

今回の「日本初期写真史 関東編」では、高橋則英氏（日本大学芸術学部写真学科教授）の監修のもと、三部構成で幕末明治期における関東地方の写真文化を紐解きます。一章では歴史を概観し、欧州における写真発祥から日本への輸入や普及するまでの歴史と写真技術を俯瞰します。二章では制作者に焦点をあて、関東地方を訪れたり、この地を基盤として活動した写真家や写真技術者たちの作品を展覧するとともに、一都六県それぞれで開業した初期の写真家たちも紹介します。最終章ではペリー来航時の肖像写真から建設中の東京駅まで、バラエティに富んだ幕末明治の写真作品を展覧します。本展は、日本写真の起源に深く関わる関東の初期写真群を一堂に会し、その積層する写真文化を鳥瞰する貴重な機会です。

幕末明治を撮る

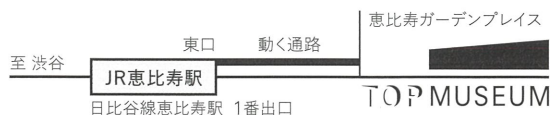
- 1 世界初の写真術に使われたカメラ
アメリカン・ダゲレオタイプカメラ（ルイス・タイプ）
1850年代初頭／東京都写真美術館蔵
- 2 ペリー来航時に撮影された肖像写真
《黒川嘉兵衛像》エリファレット・ブラウン・ジュニア
嘉永7（1854）年／個人蔵・日本大学芸術学部管理
国指定重要文化財
- 3 日本最古の写真館で撮影された肖像写真
《大策尚志》オーリン・フリーマン
万延元（1860）年／アンプロタイプ／沼津市明治史料館蔵
- 4 はじめて明治天皇を写した写真
《天皇陛下と御一行》ライムント・フォン・シュテルフリート
明治4（1871）年／明治大学図書館蔵
- 5 居留地の写真新聞に掲載された木造時代の日本橋
《日本橋》ミヒャエル・モーザー
明治5（1872）年／鶏卵紙／日本大学芸術学部蔵
- 6 大正3（1914）年の開業を前に建築が進む東京駅
《（開業前の東京駅）》宮内幸太郎
明治44（1911）年／ゼラチン・シルバープリント／
横須賀市自然・人文博物館蔵

事業はやむを得ない事情で変更することがございます。
最新情報はホームページをご覧ください。
<https://www.topmuseum.jp>



会期中に関連事業を予定しております。
詳しくは当館ホームページをご覧ください。

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM



〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
Tel: 03-3280-0099 www.topmuseum.jp
JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、
東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。
当館には駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。